

◆リレー寄稿 ～震災半年を過ぎて



あいコープみやぎ
専務理事 多々良 哲氏

この間の全国の生協の皆さまからのご支援に感謝申し上げます。

あいコープみやぎでは、震災直後から避難所、福祉施設、医療施設等への物資支援に取り組み、4月からは石巻での炊き出しをパルスシステムグループと共に継続してきました。

今後は仮設住宅でのコミュニティー形成をサポートする活動などを考えています。

3・11震災直後の被災地では、皆が寄り添い、支え合い、助け合って暮らしていました。皆が見せた隣人への思いやり、助け合いの気持ちが地域コミュニティー再生のベースになります。

私たち生活協同組合こそが被災地に助け合いの社会を立ち上げる“復興”に貢献できるはず、と思っています。

被災地の生協として、今後も息の長い活動に取り組んでいきます。

サンネットの震災支援活動を高く評価

～第20回食品安全安心・環境貢献賞受賞～

コープ東北サンネット事業連合（以下、サンネット）は、震災時の支援活動が評価され、「第20回食品安全安心・環境貢献賞」（日本食糧新聞社制定・農林水産省後援）を受賞し、9月6日に贈呈式が行なわれました。

サンネットに加盟するいわて生協・みやぎ生協・コープふくしまは、大きな被害を受けたにも関わらず、各団体やボランティア等と連携し、きめ細かく被災者を支援したこと、また、自治体との緊急時物資供給協定に基づき支援物資を届けたり、組合員へのお見舞い訪問を行ったりしたこと等、この間の支援活動に力を入れてきたことがその受賞理由です。

受賞者を代表して、サンネット宮本弘理事長兼専務理事は「救援物資を届けることができたのは、全国から支援に駆け付けた生協の仲間、メーカーや卸の皆さんの大きな協力があったからこそです。また、生協に限らず、東北の食品に関する皆さんが一体となって支援できたことが、大きな被災地支援につながったと思っています。ですから、この賞は、皆さんと一緒に受賞した賞です。東北は生産県であるので、食産業を大きく復興させていくことが必要だと考えております」と受賞の喜びと今後の課題を語りました。



受賞スピーチを行なう宮本理事長兼専務理事。

コープみえ・写真洗浄ボランティア



写真の選別作業。



洗浄が済んで干される写真。

コープみえでは、みえ災害ボランティア支援センター※の呼びかけに応じて、津波で汚れてしまった写真やアルバムをお預かりし、きれいにしてお返りする「思いで戻し隊」の活動に取り組みました。8月末から9月初旬の4日間に組合員や職員などのべ89人が参加、岩手県山田町から届いた約2,000枚の写真の洗浄作業や仕分け作業を行ないました。

1枚でも多く元の持ち主にお返しし、「思いで」を取り戻すお手伝いをしたい…そんな思いから生まれたボランティアだそうです。参加者は「現地に行けないので、身近な所で参加できて良かった」「写真がこんなに大切なものであることを今まで気付かずにきた。これからは、自分の写真も大切にしていきたい」と話していました。

※みえ災害ボランティア支援センター

(HP: <http://mvsc.jp/>)では、11月末まで継続してこの取り組みを行なう予定です。